

## 上司の急死を悼む

社長、今霊前のお写真が涙でにじんで、うっすらと見えます。

今にも話しかけてきそうな社長のお顔が、呆然としている我々社員一同を励ましているようにも見えます。

あまりにも突如な社長のご逝去、本当に信じられない気持ちです。

いつも陣頭指揮の社長が、真っ先にとっても、亡くなるのまで真っ先にゆかれるとは、残念で、残念でなりません。

社長が会社再建のため、厳しい中にも優しさといったわりの気持ちがひしひしとわれわれに伝わり、社長のお顔を拝見すると、心暖まる思いがしました。社長を中心として会社が一丸となつての努力が実を結び、再建が立派に達成されたとき、社長はしみじみ言っておられました。

「幸せは自ら求め、掴み取る物だ。お互いに日々の努力を積み重ねてこそ達成できるもの。これからもお互いに頑張ろう」この言葉を我々は十分にかみしめ、社長のご遺志を継ぎたいと思います。

社長のお好きな梅の花が、今満開です。

梅は冷たい雪を払いのけて咲く、芯の強い花です。

困難を打ち破って、花をつけ実をつける梅は、そのまま社長のお心かと存じます。

私達も、梅を、社長を見習って、何事にも屈せず会社の発展のために努力していきます。

どうか、社長、お心お安らかに眠りください。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

\* 上司である故人への弔辞は、いかに故人が仕事に打ち込んでいたか、自分たちにとってよい上司だったことを述べます。

そして、最後に故人の遺志を受け継ぎ、会社のためにも今後努力していくことを表明し冥福を祈ります